

令和5年度 第2回 東海村歴史と未来の交流館運営協議会会議録

1	開催日時	令和5年10月26日(木) 18時から19時30分まで
2	場所	東海村歴史と未来の交流館 活動室2
3	出席者 (敬称略)	<p><委員> 小野寺淳, 塩谷修, 萩谷信輝, 山本美恵子, 小金沢知己, 横山裕之, 川崎寿則, 大口武文, 鈴木絵美</p> <p><事務局> 河西徹雄(教育部長), 深見孝志(生涯学習課長兼東海村歴史と未来の交流館長), 安嶋隆(東海村歴史と未来の交流館副館長兼博物館長), 物井聡(生涯学習課課長補佐), 藤田敬(生涯学習課課長補佐), 安美穂(生涯学習課課長補佐)</p>
4	欠席者 (敬称略)	佐藤孝博
5	公開又は 非公開の別	公開
6	非公開の理由	—
7	協議・説明事項	・今後の事業計画について
8	配布資料	・【資料①】今後の事業計画について ※各事業パンフレット
9	発言内容	<p>■議事進行：小野寺会長</p> <p>(1) 令和5年度の事業報告について</p> <p>○ 配付資料の説明…資料①</p> <p>委員) とうかい子どもキャンパス(3頁)の「建築士と一緒に ストリートファニチャーをつくろう」は屋外で実施するのか。 事務局) 館内で実施する。</p> <p>委員) 館内で実施する場合, 既存の展示が活動の支障とならないか。</p> <p>事務局) 展示をしていないスペースを活用する。</p> <p>委員) 総合スポーツ大会の一環として交流スペースにおいて実施したeスポーツはどのような内容か。使用した機材はどこが用意したのか。</p>

	<p>事務局) eスポーツは、今年度から村スポーツ協会に加盟したeスポーツ連盟と県立東海高校のコンピューター部員が運営を担って競技を実施した。ゲーム機のニンテンドースイッチを利用し、機材等は連盟が用意した。</p> <p>委員) 秋季企画展のアドベンチャーin ビレッジの脱穀体験の表現に違和感がある。チラシ掲載の絵は唐箕で、脱穀とは違うのではないか。</p> <p>事務局) 一連の流れを脱穀と表現した。</p> <p>委員) 年報を見ると、博物館事業と青少年事業での区分けがない。交流館は複合施設なので、事業の整理としても一体的に捉えているのか。</p> <p>事務局) 博物館担当と青少年担当で連携して実施している事業も多く、分けられるものと分けられないものがある。</p> <p>委員) 事業数が多く全体を把握しきれていないが、博物館担当と青少年担当が実施する活動はどのように整理、仕分けしているのか。</p> <p>事務局) 年報の目次のとおり、大きくは「展示」「教育普及」「交流」の分野の中で、学校連携事業やとうかいまるごと博物館事業、とうかい子どもキャンパス事業などを展開しており、それぞれの事業の中で各担当が連携しながら活動している。</p> <p>委員) 「まる博ジャーナル」は事業トピックス的な位置づけか。</p> <p>事務局) まるごと博物館事業の年報的なものである。</p> <p>委員) 年に何回発行しているのか。発行時期や発行部数や配布先はどのようになっているのか。</p> <p>事務局) 年に1回、年度末に3,000部発行し、関係部署に配布している。</p> <p>委員) 交流館の事業はまる博がメインになるべき。「年報」は交流館全体の事業内容をまとめたもので、そのメイン事業を「まる博ジャーナル」に集約するという整理が分かりやすい。</p> <p>委員) 先ほど今月末から開催する秋季企画展の準備状況を見たが、展示する動物が実際に村内のどこで、いつ見られるのかといった情報もわかるように示せるとよい。</p>
--	--

	<p>会 長) 危険な場所も示せるとよい。最近テレビで熊に襲われるニュースをよく目にするが、そうした危険個所の把握は学校教育でも重視されている。</p> <p>委 員) 歴史と未来の交流館は博物館機能と青少年活動機能を併せた複合施設であるが、建設に当たっては“博物館をつくる”という気持ちで準備に携わった。博物館は博物館法に基づいた施設であり、博物館としての事業を展開することが肝要である。また、博物館担当には学芸員も在籍しているので、今後は当協議会の会議にも出席してほしい。</p> <p>委 員) 歴史と未来の交流館の「未来」には、子どもたちの意味合いもある。子どもたちが東海村に住んでよかったと思えるような事業を今後も展開してほしい。</p> <p>委 員) 交流館は「登録博物館」の位置づけか。</p> <p>事務局) 現在は「類似施設」である。今年度の制度変更を受け、登録博物館への登録手続きの準備を進めており、令和6年度に手続きを開始予定である。なお、交流館設置条例では「博物館施設」と「その他活動施設」で分けている。</p> <p>会 長) 仕事上、登録博物館の申請を受ける立場にいるので、何かあればいつでも相談してほしい。複合施設としての良さを発揮しながら、引き続き充実した事業展開を図っていただきたい。</p> <p>(2) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「村松軌道展」「ミュオンプロジェクト」の事業報告 <p>委 員) 今回の展示(村松軌道)の目玉はいつからどのように整理したのか。学芸員はどのように関わっているのか。</p> <p>事務局) 学芸員が専門の先生方のアドバイスを受けながら、資料作成や展示の準備を進めた。</p> <p>会 長) 私が勤務する博物館にも来館して調査を行っていた。</p> <p>【結果：今後の事業計画】 承認</p>
10 今後の予定	<p>令和6年度第1回は4月下旬に開催予定。 協議内容は令和5年度の事業報告、令和6年度の事業計画を予定。</p>